



発行：事務局 〒162-0066
東京都新宿区市谷台町 14-5
MSビル市ヶ谷台1F
編集：全難聴事務局
電話：03 (3225) 5600
FAX：03 (3354) 0046
URL：https://www.zennancho.or.jp
E-Mail：zennancho@zennancho.or.jp

↑ 第30回全国中途失聴者・難聴者福祉大会 in 京都情報

2026年10月17日(土)～19日(月)の間、京都府民総合交流プラザ 京都テルサを主会場に開催される 第30回全国中途失聴者・難聴者福祉大会 in 京都では、特設HPにおいて「観光・グルメ」のページで京都のおすすめ情報やバリアフリー情報を掲載しております。

10月の過ごしやすい時期に、魅力たっぷりの秋の京都を満喫していただくために、お役立っていただければ幸いです。

皆さまのお越しをこころより、お待ちしております。

<第30回全国中途失聴者・難聴者福祉大会 in 京都特設HP>

<https://sites.google.com/view/30thkyoto2026fuku/>



↑ 障害者放送協議会 2026年度総会

8月5日(水) 15時30分～17時、障害者放送協議会 2026年度総会がオンラインで開催され、神矢理事と小川情報文化部員が出席しました。以下は神矢理事からの報告です。

議事は第1号議案が「2025年度事業報告および決算報告」第2号議案が「2026年度事業計画および予算」であり、概ね添付資料とおりの報告がなされ、今年度の事業において実施される韓国視察については詳しい説明がなされました。

今年は韓国において放送に関する大きな法改正が行われ、災害時の放送には障害者に対する対応を含むことになります。2月に法が改正され、6か月後に施行されるということで、その間にさまざまな準備作業がなされたいということです。その調査を行うことが今回の韓国視察の目的の一つになります。また福祉放送(福祉テレビ)の関係者に会うことや、LGのサイエンスパーク(研究開発拠点)の見学も視察において予定されています。視察後は報告書をまとめ、11月頃に報告会を行う予定です。

第1号議案と第2号議案の審議が終わると意見交換がありました。その中で出てきた意見として「放送事業者だけではなくテレビの製造メーカーへの要望、ハード面に対する要望は行うのか」というのがありました。これに対して「EUではすべてアクセシブルにしなければならないとなっている。韓国でもテレビの受像機や端末機はアクセシブルでなければならないと理解している。今回の韓国視察で確認してほしい」という回答がありました。

テレビ製造メーカーに対する要望を強化して、字幕や音質の設定がより柔軟に調整できるようになる必要があると思います。また、放送分野アクセシビリティ指針の改正についての意見もありました。これは10年ごとに改正がなされ、2027年度が現行の最終年度となりますが、次の10年の目標をしっかりとめていかなければならないというものです。アクセシビリティ指針については今後研究会が開催され、対応がなされる予定です。

📌 全難聴・全要研 2026 年度第 1 回定期協議

8 月 11 日（火・祝）11 時～15 時 30 分、名古屋市のウィルあいちで全難聴・全要研の 2026 年度第 1 回定期協議が行われました。

出席者 全難聴：宿谷理事長、藤谷常務理事・要約筆記部長、宇田川事務局長

全要研：長尾理事長、山岡理事、松井事務局長

①見逃し配信に関する見解は、8 月下旬に全要研から全国聴覚障害者情報提供施設協議会事務局に連絡し、加盟団体・施設からパブリックコメントを求める。10 月中に両団体理事会で承認を取り、11 月に発信する。

②法律的には民間事業者に合理的配慮が義務化されたが、今まで個人派遣が用意できていたものが、事業者の義務になってから、派遣が受けられないケースが出ている。事業者が要約筆記を準備するのが前提だが、その提供が難しければ、自治体で判断して利用者に不利益が生じないようにするのがベスト。冠婚葬祭に関して、法が示されたことで逆に加害的な要因が出てしまっている。

厚生労働省 社会援護局 障害保健福祉部 企画課自立支援振興室の室長補佐が吉元氏から馬場氏に交代したので、両団体で挨拶と現状報告に行く。

③要約筆記者の不足・高齢化の問題がある。また、要約筆記者指導者養成研修の受講者も減ってきている。指導者養成研修の難聴者コースでは、まだ 1 人も受講していないところが 12 県ほどある。2013 年に奉仕員養成カリキュラムの廃止通知が出されているにも関わらず、市町村でまだ奉仕員を養成したり、派遣したりしているところもあるのは課題。現在の養成スタイルや、試験の仕組みが要約筆記者になりづらい要因になっている面があるかもしれない。若年層の育成モデル事業やオンラインでの指導なども構想していく必要があるが、技術的な部分だけでなく難聴者理解をどうオンラインで指導するかも考えていかなければならない。第 2 回定期協議は 2027 年 1 月初旬の予定。

📌 共用品推進機構令和 8 年度第 1 回 AD 国際標準化委員会

8 月 21 日（金）10 時～12 時に標記会議がオンラインで開催され、神矢理事が出席しました。以下は神矢理事からの報告です。

議題は①TC 173/SC 7 関連事業について ②ISO/TC 314 における関連事業について ③アクセシブルイベントに関する配慮規格における関連事業について ④ISO/TC159/WG 2 及び SC 5/WG 5 関連事業について等です。

①ISO/TC 173/SC 7 における国際規格の検討においては、感覚機能障害者の活動や社会参加を促進するための福祉機器における国際規格を継続させるため、コミュニケーション支援ボード、触知案内図、公共トイレ、公共施設の音声案内等についての整理及び審議を行います。②ISO/TC 314 における国際規格案の作成については、感染症予防対策におけるアクセシビリティ考慮規格を作成し、製品、施設、サービス等における感染症予防対策の実施に際して、高齢者や障害者など特別なニーズのある者に対するアクセシビリティを確保するた

めの一般原則及び推奨事項を提供することを検討します。③アクセシブルイベントに関する配慮規格における配慮事項の検討については、障害のある人や高齢者が参加しやすいアクセシブルイベントを国際的にも摘要できる国際的にニーズの高い合理的配慮の観点を含めた国際標準化開発のために配慮規格における配慮事項の検討を行います。④ISO/TC 159/WG 2、及び SC 5/WG 5 における共通基盤規格案の作成については、多様な色覚の人々のための色の組合せ、視標と表示における見やすい視覚的コントラスト、助けを求める音と光の標準化等を検討します。

質疑応答の中では、アクセシブルイベントに関する委員会にはロービジョンの人も含めてほしい、ロービジョンや中途障害の人のニーズが拾えていないという意見や、助けを求める音と光の標準化については、光や音に過敏な人もいる、検討するときは知的障害や発達障害などで知覚に過敏な人の意見も聞いてほしいという意見が出ました。さまざまな障害のある人の意見を聞いて、大多数の人にとって不自由を感じることはない規格が作成されることを望みます。

📌 JDF 第 244 回幹事会

8 月 25 日（火）13 時 30 分～15 時 30 分 JDF 第 244 回幹事会に宇田川事務局長がオンラインで出席しました。幹事会に先立って、社会福祉法人日本視覚障害者団体連合（日視連）佐藤氏による、アクセシブルな資料作成についての説明がありました。

①令和 8 年熊本地震

今回の地震では地元の動きが早かった。被災地障害者センター（KDF）が 8/11 に立ちあがった。本部事務所は KDF と同じ熊本市内。八代市内にある NPO 法人「とら太の会」に支援の拠点を置いている。東氏が住み込んで日々活動されている。

KDF として現地の各団体から要望事項を集め、まとめて熊本県に提出予定。JDF としても提出したい。能登の支援センターで使っていた車両 2 台が能登に残っていたので、熊本まで運転して持って行った。ファイザーから寄付の申し出があった。

次回の JDF 能登半島支援連絡会議は 10 月 21 日（水）13：30 の予定。

③JDF 幹事会事務局は幹事会議長の団体が担うが、議長が交代した時には改めて話し合う。

④第 35 会期障害者の権利に関する委員会が開催され、田門氏が参加している。8/25 までガイドラインの議論をして、その後に総括所見の採択が行われる。

⑤「国連障害者権利委員田門浩さんの話を聞く会 2026」

9/29（火）17：00～19：00 JDF 幹事会の後にオンラインで開催する。

<https://forms.gle/2znUN965hctW5Qbm9> （申込締切日：9/22）

⑥JDF 全国フォーラムは 12 月 7 日（月）戸山サンライズで行う。権利条約 20 周年をテーマで実施する。田門氏や政策委員長の田中氏の報告。災害支援として能登・熊本の報告。高齢者人権条約の動向、地域における条約実施の取り組みなどを取り上げる。

📌 ともともフェスタ 2026 ワーキングチーム会議

ともともフェスタ 2026 ワーキングチーム会議第 4 回（8 月 7 日）、第 5 回（8 月 26 日）が中央合同庁舎 8 号館で開催され、宇田川事務局長が出席しました。

ともともフェスタ 2026 ホームページ <https://www.tomotomo.go.jp/festa2026/>

全難聴は、日本財団のヨメテルと出展テントを半分づつ使って出展することになりました。9 月 2 日（水）14：00～16：00、会場である東京駅丸の内口の行幸通り、丸ビル 1 階マルキューブなどの視察が行われます。会場周辺の環境、東京駅および周辺駅からのアクセシビリティの確認、会場設営に向けて注意すべき点の確認、その他現地でしか発見できない注意事項の洗い出しなどを行います。全難聴の出展は、東京都中途失聴・難聴者協会と埼玉県難聴者・中途失聴者協会が協力して行う予定です。

★2026 年度全難聴研修会 第 3 回オンライン研修会★

2026 年 9 月 18 日（金）19：00～21：00

テーマ：要約筆記者養成テキスト第 1 講「聴覚障害の基礎知識」について

講 師：和泉大学准教授 馬屋原邦博氏

申込 URL <https://forms.gle/KAjzpZxLRhqcRcmM9> （申込締切日：9 月 4 日）

📌 理事・専門部の動き（8/1～8/31）※専門部は対外的活動のみ掲載

8 月 4 日 JDF 政策委員会 [ONLINE](#)（伊達、宇田川、瀬谷）

8 月 5 日 障害者放送協議会総会 [ONLINE](#)（神矢、小川）

8 月 6 日 障害者放送通信機構 臨時総会及び理事会 [ONLINE](#)（宿谷）

8 月 7 日 第 4 回「ともともフェスタ 2026」ワーキングチーム（宇田川）

8 月 10 日 JDF 災害総合支援本部会議 [ONLINE](#)（宿谷）

8 月 11 日 全要研との定期協議（宿谷、藤谷、宇田川）

8 月 18 日～21 日 障害者放送協議会 次世代放送企画（ATSC3.0）の韓国視察（小川、小谷野）

8 月 21 日 第 1 回 AD 国際標準化委員会 [ONLINE](#)（神矢）

8 月 24 日 第 1 回 TC159AD 委員会 [ONLINE](#)（小川）

8 月 25 日 JDF 幹事会 [ONLINE](#)（宇田川）

8 月 26 日 第 5 回「ともともフェスタ 2026」ワーキングチーム（宇田川）

8 月 27 日 厚労省へ全要研と挨拶訪問（宿谷、宇田川、藤谷）

8 月 28 日 第 59 回全国手話通訳問題研究集会（藤谷）

8 月 30 日 文字通研夏季集会（宿谷）

《9 月の予定》

9 月 2 日 「ともともフェスタ 2026」会場視察

9 月 8 日 JDF 政策委員会

9 月 18 日 情報コミュニケーション 4 団体連絡会

9 月 18 日 第 3 回オンライン研修会

9 月 19 日 第 2 回理事会

9 月 23 日 きょうされん第 49 回全国大会 in 大阪 えがおのまつり

9 月 25 日 NHK 番組検討会

9 月 29 日 JDF 幹事会